

基本方向

01

# 安心・安全でいきいきとした 暮らしづくり

基本政策01 保健・医療の充実

▼  
p48

基本政策02 社会福祉の充実

▼  
p52

基本政策03 防災・消防体制の充実

▼  
p58

基本政策04 生活安全の充実

▼  
p62





## 施策 01 保健の充実

**目標** ▶▶ 生涯を通じて健康でいきいきと暮らせるまちをめざし、市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組む環境を整備します。

### 現状

- 本市の生産年齢人口は減少傾向にあり、また、高齢化率は令和4年度(2022年度)が27.8%で、県平均の27.5%を上回っています。
- 本市の死因の半数以上はがん、次いで心疾患、脳血管疾患などの「生活習慣病」が占めており、そのきっかけとなる肥満は若い世代から増加しています。
- 新型コロナウイルス感染症は、市民の健康や生活・社会環境に大きな影響を及ぼしました。

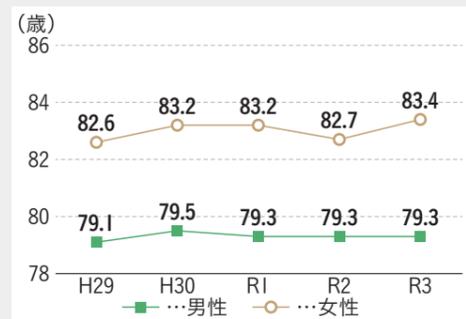
### 課題

- 超高齢社会の到来により、高齢者の健康維持、医療費の抑制は喫緊の課題です。
- 健康寿命の延伸、健康格差の縮小を図るため、ライフステージごとの特性・課題を把握し、健康無関心層も含めた健康づくりに向け、生活習慣の形成に取り組む必要があります。
- 市民の感染症予防のため、日頃からの健康増進、感染症やワクチンに関する知識の普及啓発、各種ワクチン接種率の向上や、新たな感染症発生時に迅速に対応できる体制の構築が必要です。
- 市民が健康増進センター「いきいき館」を安全に利用できるよう、計画的な修繕が必要です。

### 課題解決に向けた方向性

- 子どもの頃からの健康な体づくりと将来の生活習慣病予防のため、基本的な生活習慣の確立ができるよう正しい知識の普及啓発を推進します。
- がんの早期発見や生活習慣病の発症・重症化予防のため、各種検(健)診の受診率向上や保健指導の充実を図ります。
- 高齢者の生活習慣病の重症化予防やフレイル予防に向けた保健事業を実施します。
- 生活習慣病の発症にもつながる可能性のある歯科疾患の予防のため、ライフステージに応じた歯科保健事業を推進します。
- 関係機関との連携を図り、予防接種による感染拡大防止など感染症対策に係る体制を構築します。
- 健康増進センター「いきいき館」の修繕など、必要な対策に取り組めます。

【健康寿命(平均自立期間)】



出所：国保データベースシステム

### DXの視点

- ・ SNSを活用した情報発信の充実
- ・ らづFit・らづBodyの活用促進
- ・ 健診データを分析し、保健指導に活用

### GXの視点

- ・ 歩くことによる効果の周知・啓発
- ・ 健康増進センターにおける再生可能エネルギーの導入、省エネルギー化



### オーガニックなまちづくりに向けた取組



#### 市の取組

- ・ あらゆる場面で健康のための意識啓発を行います。
- ・ 保健指導や相談、情報提供に取り組めます。

#### 市民等の取組

- ・ がん検診や特定健康診査など各種検(健)診を積極的に受けます。
- ・ 健康を意識して、自発的に健康づくりに取り組めます。

### 主な取組

#### 01-1 | 健康づくりの推進

- ▶ 妊婦や幼少期における基本的な生活習慣の確立に向け、「早寝早起き朝ごはん」の普及啓発を推進します。
- ▶ 健康アプリ「らづFit」や体組成計「らづBody」の活用等により、体重管理や食事、運動、睡眠、休養など、健康を自己管理できる環境づくりを推進します。
- ▶ がんの早期発見・治療のため、がんに関する知識の普及啓発やがん検診受診率向上に取り組めます。
- ▶ 高齢者の生活習慣病の重症化予防やフレイル予防のため、栄養、口腔、服薬管理等を支援します。
- ▶ フッ化物洗口実施校数拡大のための体制構築や歯科健診の受診率向上に取り組めます。
- ▶ 感染症やワクチンに関する知識の普及啓発、各種広報による予防接種率の向上、新たな感染症への対応を迅速に行います。また、平時から医師会や関係機関と情報共有を図り、感染症発症時に速やかに対応できる体制を構築します。
- ▶ 心の健康や自殺対策に関する正しい知識の普及啓発に取り組めます。

#### 01-2 | 健康支援体制の充実

- ▶ 市民の健康情報や支援内容等のデータを管理・分析し、健康リスクの高い市民へ必要な情報を提供し、支援に結びつけます。
- ▶ 市民のライフステージにおける切れ目のない健康支援ができるように、健康教育・相談支援等の保健事業の充実に取り組めます。
- ▶ 健康増進センター「いきいき館」の適切な管理を行い、市民が安全に利用できる環境を整えます。

#### 01-3 | 生活習慣病の発症・重症化予防

- ▶ 各種検(健)診の予約、遠隔保健指導、健康アプリ等のICTを活用して、市民の利便性向上に取り組めます。
- ▶ 各種検(健)診結果及び医療データをもとに、受診者の健康状態の階層化を行い、個別性の高い保健指導を実施します。
- ▶ 保健、医療、介護に関するデータを分析し、医師会、歯科医師会、薬剤師会と連携して市民の健康課題への対応に取り組めます。

指標	現状値	目標(令和8年度)	備考
健康寿命	男性 79.3 歳 女性 83.4 歳 (令和3年)	男性 79.9 歳 女性 84.1 歳	生活習慣病の発症・重症化予防により、平均自立期間(要介護2以上)の延伸をめざす。
特定健康診査受診率	42.9% (令和3年度)	47%	各種普及啓発活動により、国民健康保険被保険者(40歳から74歳)の受診率向上をめざす。

#### 関連する個別計画

健康ささらづ21 / 木更津市食育推進計画 / 木更津市国民健康保険保健事業計画(データヘルス計画) / 木更津市自殺対策計画 / 木更津市新型コロナウイルス等対策行動計画 / 木更津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 / 木更津市DX推進計画



## 施策 02 医療の充実

**目標** ▶▶ 市民の誰もが安心して医療サービスを受けられるまちをめざし、適切な医療が提供できる地域医療・救急医療体制の充実を図ります。

### 現状

- 高齢化の進行や医療技術の進歩など保健医療を取り巻く状況が変化中、急性期から回復期、在宅医療に至るまで、市民が安心して必要な時に適切な医療サービスを受けられる体制の整備が求められています。
- 救急医療については、君津地域4市で構成する君津保健医療圏で一次・二次・三次の救急医療体制を構築し、医師会や関係機関の協力のもと維持されています。
- 一次救急の夜間急病診療所は、君津地域4市が構成団体となる君津郡市広域市町村圏事務組合により運営されています。
- 中核医療施設である君津中央病院も君津地域4市が構成団体となっており、三次救急医療や高度医療、災害時の拠点病院として重要な役割を担う一方、地域に必要な不採算医療や施設改修、設備更新に多額の経費が見込まれています。

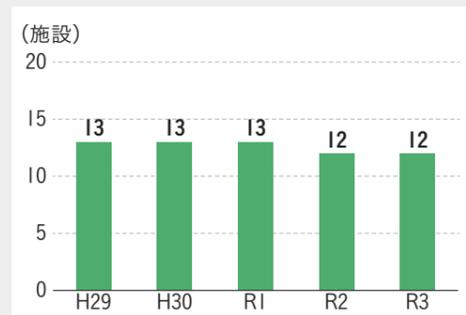
### 課題

- 救急医療体制について、休日の在宅当番医制における小児科医不足への対応や夜間の初期救急を担う夜間急病診療所の医療提供の充実が求められています。
- 高齢化の進行による在宅医療の需要の増加が見込まれることから、在宅医療・介護連携を、より一層推進する必要があります。
- 災害時の医療体制を確保するため、保健所、君津地域4市、君津中央病院、医師会、歯科医師会、薬剤師会との連携を図る必要があります。

### 課題解決に向けた方向性

- 医師会や関係機関と連携し、在宅当番医制、夜間急病診療所及び二次待機施設などの救急医療体制の充実を図るとともに、保健・医療従事者の人材確保対策を支援します。
- 地域医療・介護の課題抽出と対策の検討、切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築を図ります。
- 君津中央病院について、君津地域4市で連携し、経営の安定化を図ります。
- 保健所、君津地域4市、君津中央病院、医師会、歯科医師会、薬剤師会と連携し、大規模災害時等の応急医療救護体制を確立します。

【君津地域二次待機施設数】



出所：木更津市 健康推進課資料

### DX の視点

・ ICTを活用した在宅医療・介護連携の推進

### GX の視点

・ 災害時・停電時でも活用できる電源・熱源の確保



### オーガニックなまちづくりに向けた取組

自立

市の取組

・ いつでも安心して医療サービスを受けられる環境を整えます。

循環

共生

市民等の取組

・ 症状に応じた適切な受診を心がけます。

### 主な取組

#### 02-1 | 医療体制の整備 ..... 【健康推進課・高齢者福祉課】

- ▶ 市民一人ひとりが症状に応じた適切な医療サービスを受けられるよう、今後の医療体制のあり方について、医師会や関係機関との連携強化を図りながら、君津地域4市で取り組みます。
- ▶ 夜間急病診療所について、君津地域4市が構成団体となる君津郡市広域市町村圏事務組合による運営から、木更津市を設置者とした新たな体制への移行を進めます。
- ▶ 「在宅医療・介護連携推進協議会」において、在宅医療・介護連携に関する医療介護関係者の研修及び市民への普及啓発等を推進します。また、ICTを活用した在宅医療・介護連携を推進します。
- ▶ 救急医療機関や救急車の利用方法について、市民に正しい知識の普及や啓発活動を行います。
- ▶ 君津中央病院の質の高い医療の充実を図るため、君津地域4市で必要な経費負担を行うとともに、経営の安定化に取り組みます。
- ▶ 大規模災害時等の応急医療救護体制の確立及び「災害救護マニュアル」の具体的な運用に向け、保健所、君津地域4市、君津中央病院、医師会、歯科医師会、薬剤師会と協議を進めます。

指標	現状値	目標（令和8年度）	備考
君津地域二次待機施設数	13施設 (令和4年度)	13施設	医師会や関係機関と連携し、君津保健医療圏（木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市）内の二次待機施設数の現状を維持する。

#### 関連する個別計画

木更津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

### 施策 03

## 地域福祉の推進

SDGsへの貢献



### 目標 ▶▶

市民が地域福祉を意識しながら、お互いに支え合う地域社会の構築をめざし、地域ネットワークを強化し、自分らしく暮らすことができる環境づくりを推進します。

#### 現状

- 地域住民同士のつながりの希薄化に加え、民生委員や児童委員など地域福祉の担い手が高齢化・固定化される傾向にあります。
- 急速な高齢化の進行に伴い、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみで構成される世帯が増加しています。
- ひきこもりや社会的孤立状態にある人が増加するとともに、8050問題、ダブルケア、ヤングケアラー等、個々の抱える課題は、複雑多様化しています。
- 経済の低迷や雇用形態の変化、疾病、障がいなどにより、安定した生活基盤を築くことができず、生活保護受給世帯は年々増加しています。
- 就労意欲があっても、高齢、障がい、子育てや健康問題など、様々な理由から働けない方々があります。
- 子どもの貧困の連鎖を断ち切るため、自立に向けた支援の重要性が高まっています。

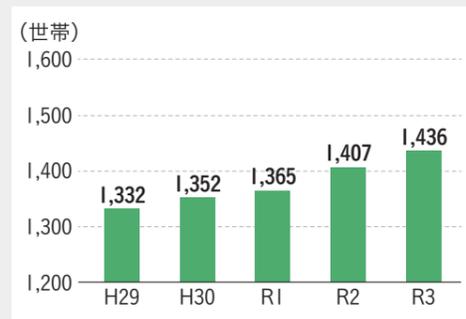
#### 課題

- 地域福祉活動が円滑に進められるよう担い手の確保・育成をはじめ、地域住民や関係機関と市との連携強化に取り組む必要があります。
- 必要な支援が届かず、地域で孤立する人への対応が求められています。
- ヤングケアラーなど、複合的な福祉課題を抱える要支援者に対して、早期の段階で相談・支援を行い、自立助長を図ることが必要です。
- 認知症や障がいなどにより、金銭管理等の権利擁護を必要とする地域住民が増加しています。
- 高齢者や障がい者などの地域住民が外出移動しやすいよう、バリアフリー化の推進が必要です。
- 子どもの貧困の連鎖を断ち切るため、学習支援の重要性が高まっています。

#### 課題解決に向けた方向性

- 地域住民、福祉関係者、社会福祉協議会、市が互いに連携し、地域福祉活動を推進します。
- 地域の支えあい活動による相談対応の活性化により、一人ひとりに対して適切に支援します。
- 貧困の連鎖を断ち切るため、生活困窮世帯、ひとり親家庭等の子どもの学習を支援します。
- 高齢者や障がい者等が安心して暮らせるよう、成年後見制度の利用を促進します。
- 複合的な福祉課題を抱える世帯に対して、重層的支援体制による横断的・継続的な支援を行います。

【生活保護被保護世帯数】



出所：木更津市 生活支援課資料

#### DX の視点

- 情報発信の強化、充実

#### GX の視点

- フードドライブ等による食品ロス削減
- 市民総合福祉会館における再生可能エネルギーの導入、省エネルギー化

#### オーガニックなまちづくりに向けた取組



#### 市の取組

- 地域の福祉活動を支援します。
- バリアフリー化を推進します。

#### 市民等の取組

- 困っている人を近所で助け合います。
- 子どもの居場所づくりなどの地域活動に協力します。

#### 主な取組

#### 03-1 | 地域福祉活動の推進 …… 【福祉相談課・子育て支援課】

- ▶ 福祉サービスを必要とする住民が、地域社会で日常生活を営み、様々な分野の活動に参加する機会が与えられる社会をめざして、社会福祉協議会など福祉団体との連携強化に取り組みます。
- ▶ 民間支援団体や地域住民組織と連携を深め、重層的支援体制整備事業の充実に取り組みます。
- ▶ 民生委員や児童委員が欠員している地区の市政協力員等へ状況説明や候補者の選任依頼等を行います。
- ▶ 地区民生委員児童委員協議会や地区社会福祉協議会などが行う地域福祉活動を支援します。
- ▶ 地域福祉活動の拠点施設である市民総合福祉会館の適正な管理・運営を行います。

#### 03-2 | 生活の安定と援護 …… 【福祉相談課・生活支援課・子育て支援課】

- ▶ 生活困窮者に対し、関係機関と連携して、相談者の状況に応じた包括的な相談対応や支援を行います。
- ▶ 子どもの学習機会や居場所の提供、保護者に対する養育の助言を含めた進路選択の支援を行います。
- ▶ 成年後見制度に関する地域連携ネットワークの構築や市民後見人の養成に取り組みます。
- ▶ 重層的支援体制の中で、多機関・多職種との連携による複合的な課題を抱えたケースの早期発見・早期支援に取り組むとともに、継続的に関わり続ける伴走型支援の充実に取り組みます。
- ▶ 就労体験を通じて自立した社会生活に向けた訓練を行うことで、相談者の就労を支援します。

#### 03-3 | バリアフリーの推進 …… 【地域政策室・高齢者福祉課・障がい福祉課・土木課】

- ▶ 高齢者や障がい者などの移動制約者を含むすべての人が外出・移動しやすいよう、関係機関と連携し、乗合バス車両やタクシー車両のバリアフリー化を推進します。
- ▶ 木更津駅東西自由通路に設置しているエレベーターの適切な維持管理を行います。
- ▶ 地域住民の利便性や安全性の確保を図るため、巖根駅の東西を結ぶ岩根人道跨線橋にエレベーターを設置するとともに、鉄道事業者と駅東側の改札口設置に向け取り組みます。

指標	現状値	目標（令和8年度）	備考
民生委員・児童委員の充足率	81.9% (203人) (令和4年12月末)	100% (248人)	定数(248人)の100%を目標とする。

#### 関連する個別計画

木更津市地域福祉計画 / 木更津市地域公共交通計画

SDGsへの貢献



## 施策 04 高齢者支援の充実

### 目標 ▶▶

元気な高齢者も、介護や支援が必要になった高齢者も、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちの実現をめざし、地域で進めている「地域包括ケアシステム」の深化を図ります。

### 現状

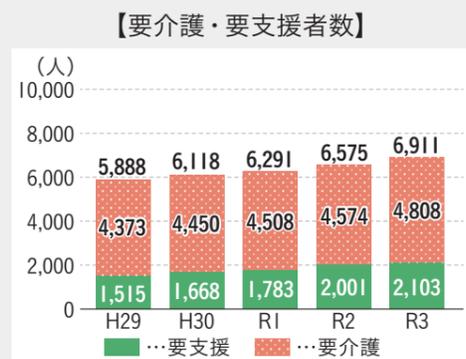
- 本市の高齢化率は、団塊世代が75歳以上となる令和7年(2025年)には27.5%を見込み、団塊ジュニア世代が65歳以上となり、高齢者人口がピークに達する年と見込まれる令和22年(2040年)には、本市においても30%を超える高齢化率を見込んでいます。
- 認知症への正しい理解が十分でないため、早い段階で相談支援につながりにくい現状があります。

### 課題

- 高齢者福祉や介護サービスに対する需要が増加し、多様化しています。
- 高齢者が住み慣れた地域で、安心して生きがいを持って生活ができるように、福祉サービスの充実や地域づくりを進める必要があります。
- 認知症の早期発見・早期対応には、認知症を正しく理解することが必要です。

### 課題解決に向けた方向性

- 生涯にわたる健康づくりと介護予防の推進を図ります。
- 高齢者が積極的に社会参加することができる機会を提供します。
- 介護が必要になった場合には生活支援サービスを提供するとともに、医療・介護の連携を推進し、認知症高齢者に対しても包括的な支援を図ります。
- 介護する家族への負担軽減や、成年後見制度の利用支援、高齢者の住まいの確保を支援します。



出所：木更津市 介護保険課資料

### DXの視点

- ・ 手続きのオンライン化
- ・ デジタル技術を活用した見守りの導入
- ・ 介護認定審査等における事務負担の軽減

### GXの視点

- ・ 各種会合のリモート対応による排出ガスの削減
- ・ 各種施設における再生可能エネルギーの導入、省エネルギー化
- ・ 災害時・停電時でも活用できる電源の確保



### オーガニックなまちづくりに向けた取組



#### 市の取組

- ・ 高齢者の地域社会への参加を支援します。
- ・ 認知症の早期発見・早期対応に向けた支援体制を構築します。

#### 市民等の取組

- ・ 生きがいを持ち、健康な生活を心がけます。
- ・ 認知症サポーター養成講座の受講に努めます。

### 主な取組

#### 04-1 | 高齢者への包括的支援 ..... 【高齢者福祉課】

- ▶ 地域包括支援センターを中心に、地域の医療・介護の関係者と連携し、高齢者の心身の健康の保持や生活の安定のために必要な援助を行うなど、総合的な生活支援や相談業務を実施します。
- ▶ 認知症サポーターの養成や認知症初期集中支援チームによる認知症の早期発見・早期対応に向けた支援体制を構築し、認知症の方の意思を尊重し、住み慣れた地域で暮らし続けられる環境を構築します。

#### 04-2 | 高齢者の社会参加の促進 ..... 【高齢者福祉課】

- ▶ 高齢者が健康で生きがいのある生活を送れるよう、芸能大会やスポーツ大会等の各種活動を支援します。
- ▶ 高齢者がボランティア活動や住民組織による活動を行うことができる仕組みづくりに取り組みます。
- ▶ 木更津市シルバー人材センターへの支援を行うとともに、民間団体や住民組織との連携を強化し、高齢者の就業機会を拡充します。

#### 04-3 | 介護予防の推進 ..... 【高齢者福祉課】

- ▶ 介護予防教室や健康教育を実施することで、介護予防を推進します。
- ▶ 地域で高齢者が自主的に介護予防体操に取り組む活動の立ち上げや運営支援を拡充します。

#### 04-4 | 介護保険サービスの充実と適正な給付 ..... 【介護保険課】

- ▶ 可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、介護保険サービスの充実に取り組みます。
- ▶ 家族を介護している介護者の離職防止や特別養護老人ホームの待機者を解消するため、計画的な施設整備を促進します。
- ▶ 適切な要介護認定を行うとともに、ケアプラン点検等により給付の適正化に取り組みます。
- ▶ 関係機関と協力し、外国人人材の活用も視野に入れ、介護人材の確保・育成に取り組みます。

指標	現状値	目標 (令和8年度)	備考
認知症サポーター養成講座受講者数	11,090人 (令和4年12月末)	13,500人	年間500人の増加をめざす。
特別養護老人ホーム入所待機者数	288人 (令和4年7月1日現在)	200人	木更津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、88床の整備をめざす。

#### 関連する個別計画

木更津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

SDGsへの貢献

## 施策05 障がい者支援の充実



### 目標 ▶▶

障がいの有無に関わらず、互いに尊重し合いながら、安心して自立した生活を送ることができるまちをめざし、障がい者のすべてのライフステージにおいて最適な障害福祉サービスを提供しながら、家族、関係団体及び行政等が連携し、地域全体で支え合う環境の整備を推進します。

### 現状

- 本市における障がい者数は増加の傾向にあります。
- 平成28年(2016年)4月施行の障害者差別解消法及び改正障害者雇用促進法により、障がい者に対する差別解消や就労支援などの施策を実施しています。
- 障がいのある人や介護者は、高齢化に伴う将来への不安や、障害の状態や程度に起因する様々な生活への不安を抱えています。

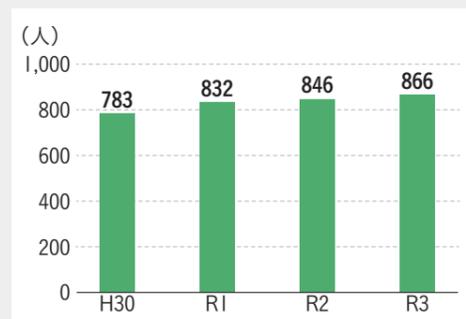
### 課題

- 障がい者の日常生活を支える相談支援体制やサービス提供体制を強化する必要があります。
- 地域や学校、職場などにおいて、障がいに対する更なる理解や配慮を深める必要があります。
- 障がい者が安心して自立できるよう、就学や就労、社会参加への支援の充実に取り組む必要があります。

### 課題解決に向けた方向性

- 地域全体で支える体制づくりについて、障がい者団体、福祉、医療、教育の各機関及び行政で構成する地域自立支援協議会を活用し、地域生活支援拠点の整備を進めます。
- 障がいの有無に関わらず、相互に理解を深めることを目的に、イベント開催や広報活動による啓発を図り、社会参加の機会の充実を図ります。
- 障がい児を支援する療育及び相談支援の体制を強化します。

【障がい福祉サービス利用者数】



出所：木更津市 障がい福祉課資料

### DX の視点

- 手続きのオンライン化

### GX の視点

- 障害者福祉施設等における再生可能エネルギーの導入、省エネルギー化
- 災害時・停電時でも活用できる電源の確保



### オーガニックなまちづくりに向けた取組



#### 市の取組

- 障がい者の社会参加の機会を増やします。

#### 市民等の取組

- 障がい者雇用を推進します。
- 就労支援施設等で販売品の購入を心がけます。

### 主な取組

#### 05-1 | 障がい者への理解促進と相談支援の充実 ……【障がい福祉課】

- ▶ 基幹相談支援センターにおいて、障がい者からの相談にきめ細やかに対応します。
- ▶ 地域自立支援協議会を活用し、地域生活支援拠点の整備を進めます。
- ▶ 障がい者への理解を深めるため、イベントの開催や広報等により啓発に取り組みます。
- ▶ 福祉サービスの利用にあたり、ケアマネジメントを行うための計画相談の支援体制を充実します。

#### 05-2 | 社会参加の促進 ……【障がい福祉課】

- ▶ 雇用されることが困難な障がい者に対し、生活指導や作業訓練を行い、自立を支援します。
- ▶ 地域活動支援センターの機能強化や日中一時支援事業など、障がい者の地域における生活を支援します。

#### 05-3 | 生活自立の支援 ……【障がい福祉課】

- ▶ 障がい者が自立した生活を送れるよう、補装具の支給、自立支援医療費等の支援を行います。
- ▶ 障がい者やその介護者に対し、経済的負担の軽減を図り、生活の安定や社会的更正、医療的治癒を促進します。
- ▶ 虐待を受けた方の一時的な避難場所を確保し、24時間体制で対応します。
- ▶ 発達が気になる子に対し、訓練や相談支援などの早期治療を実施し、障がいの軽減や生活能力の向上に取り組みます。

指標	現状値	目標(令和8年度)	備考
日中一時支援利用者数	139人 (令和4年12月末)	166人	毎年約8%の増加をめざす。
福祉施設からの一般就労者数	17人 (令和4年12月末)	33人	毎年約15%の増加をめざす。

#### 関連する個別計画

きさらづ障がい者プラン(木更津市障害者計画、木更津市障害福祉計画、木更津市障害児福祉計画)

SDGsへの貢献



## 施策06 災害に強いまちづくりの推進

### 目標 ▶▶

市民の生命、身体及び財産を災害から守ることをめざし、市、関係機関及び市民の総力を結集し、平時から災害に備えるとともに、災害発生時に迅速な対応をとれる体制を整えます。

### 現状

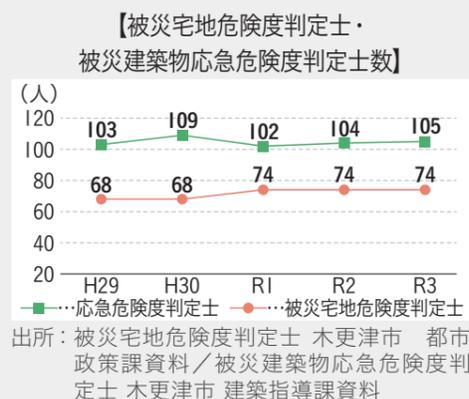
- 近年、大地震や集中豪雨等による被害が多数生じています。
- 大規模地震の発生も懸念され、首都直下地震が発生した場合には、都市機能が麻痺するなど甚大な被害が生じると予想されています。
- 市民とともに災害への備えは進めています。特に飲料水や保存食が、現在の市の備蓄品だけでは避難者想定人数に対応できていない状況です。
- 大規模な災害が発生した場合、被災宅地危険度判定士及び被災建築物応急危険度判定士については、現状の人数では対応できない可能性があります。
- 全国的に、大地震発生時に大規模な盛土により造成された区域において災害が発生しています。

### 課題

- 平時から市、市民、地域が一丸となり、防災への意識を高めるとともに、ソフト・ハード両面の防災対策を推進することが重要となります。
- 災害時の情報収集や発信方法の多重化、また、避難行動要支援者への対策が課題となっています。
- 災害発生時の二次災害を予防するため、被災宅地危険度判定士等の更なる確保が必要です。
- 市内の大規模盛土造成地について、安全性を確認するとともに、県と連携した規制強化への取組が必要です。

### 課題解決に向けた方向性

- 計画的な災害用品の備蓄や団体等との協定の締結を進めるとともに、自主防災組織の拡充や防災教育の推進、避難行動要支援者への支援策の強化等、更なる防災力の強化を図ります。
- 情報伝達手段の多重化や災害情報の見える化を図ります。
- 被災宅地危険度判定士等について、大規模災害を想定した人数確保に取り組めます。
- 市内の大規模盛土造成地の安全性を確認し必要に応じた対策を講じることで、市民が安心安全に暮らせるよう「災害に強いまちづくり」の実現に向けた取組を推進します。



### DXの視点

- ・ ICTを活用した防災、災害情報の見える化
- ・ SNSを活用した情報の収集手段・発信方法の強化

### GXの視点

- ・ 気候変動に伴う災害への備え
- ・ 避難所における再生可能エネルギーの導入、省エネルギー化



### オーガニックなまちづくりに向けた取組



#### 市の取組

- ・ 災害発生時には被害を最小限に留め、早期に生活環境を回復できるよう体制を整えます。

#### 市民等の取組

- ・ 防災訓練への参加や協力を努めます。
- ・ 災害に備えた備蓄を行います。

### 主な取組

#### 06-1 | 防災対策の強化 ..... 【危機管理課・都市政策課】

- ▶ 防災及び災害情報を速やかに収集し、適時・的確に伝達できる防災体制を確立します。
- ▶ 国民保護計画、災害対策本部体制などを見直すとともに、行政の防災力強化に取り組みます。
- ▶ 平時から十分な備蓄品の確保を行うとともに、防災訓練の実施や土砂災害警戒区域等の周知を行います。
- ▶ 高齢者、障がい者、乳幼児や外国人市民などの要配慮者の視点に立ち、福祉避難所の増設を行うなど避難支援対策の充実に取り組みます。
- ▶ 盛土造成地の滑動崩落を防止するため、優先度評価及び地質調査・解析等を行い、宅地耐震対策を進めます。また、県と連携し盛土造成地の区域の見直しや新たな区域の指定を行います。

#### 06-2 | 災害に強い基盤づくり ..... 【危機管理課・建築指導課・消防総務課・地域政策室・庁舎準備室・シティプロモーション課】

- ▶ 様々な媒体の活用を図り、情報伝達手段の多重化と発信内容の充実に取り組みます。
- ▶ 木造住宅の耐震化促進や危険なブロック塀等の除却を促進します。
- ▶ 道路や橋りょうの適切な維持管理、無電柱化の取組、津波・高潮の浸水想定区域に位置する地区において避難所機能等を備えた施設整備を進めます。
- ▶ 災害時に庁舎機能を維持するため、無停電電源装置や自家発電設備に加え、太陽光発電装置の導入を進めます。

#### 06-3 | 防災意識の向上 ..... 【危機管理課】

- ▶ 防災・減災の専門家による講演や様々な広報媒体を活用し、市民の防災意識の向上に取り組みます。
- ▶ 自主防災組織の設置や既存組織の育成を図り、自主防災活動の活性化に取り組みます。
- ▶ 地区住民が行う自発的な防災活動等を記載した「地区防災計画」の策定を支援します。

#### 06-4 | 災害発生時の迅速な対応 ..... 【危機管理課・都市政策課・建築指導課】

- ▶ 災害発生時の被害拡大防止に全力を挙げるとともに、迅速かつ的確な災害復旧を実施します。
- ▶ 被災宅地応急危険度判定士等を育成するため、制度周知や資格者の確保、技術力の向上に取り組みます。
- ▶ 業務継続計画 (BCP) を策定し、災害発生時における優先すべき市民サービスを維持します。

指標	現状値	目標 (令和8年度)	備考
災害対策コーディネーター養成講座受講者数 (延べ人数)	261人 (令和4年12月末)	375人	年間28人の増加をめざす。
防災事業を実施する地区まちづくり協議会の数	13協議会 (令和4年度)	15協議会	すべての地区まちづくり協議会で防災事業の実施をめざす。

#### 関連する個別計画

木更津市地域防災計画 / 木更津市国土強靱化地域計画 / 木更津市国民保護計画・木更津市業務継続計画  
 オーガニックなまちづくりアクションプラン / 木更津飛行場周辺まちづくり基本計画 / 庁舎整備基本計画  
 木更津市都市計画マスタープラン / 木更津市立地適正化計画



## 施策07 消防・救急救助体制の充実

**目標** ▶▶ 市民が安心して安全に暮らせるまちの実現をめざし、消防力の充実・強化や円滑な救急救助体制の構築を図ります。

### 現状

- 救急出動件数は、近年は微増傾向にあり、令和3年(2022年)は6,720件でした。
- 火災発生件数についても、近年は微増傾向にあり、令和3年(2022年)は45件でした。
- 高齢化の進行に伴い、救急需要や火災からの逃げ遅れ等の危険性の増大が見込まれます。
- 消防団員のサラリーマン化による就業形態の変化から、消防団員数が減少傾向にあります。
- 消防車両や施設の老朽化が進んでいます。

### 課題

- 高齢化の進行や核家族化に伴う社会構造の変化等による救急需要の増大に対応していく必要があります。
- 火災からの逃げ遅れ等の危険性を減らすため、火災の早期発見が必要となります。
- 消防団員数(実員数)の減少により、火災鎮火後の待機、巡回などの人出が不足しています。
- 消防車両の老朽化により、車両の機能低下、故障の増加が見込まれます。
- 分署・出張所の老朽化により、建替や大規模改修工事の必要があります。

### 課題解決に向けた方向性

- 救急体制を強化し救急活動時間全体を短縮することにより、救急需要の増大に対応していきます。
- 火災の早期発見のため、住宅防火対策の推進や防火意識の高揚に取り組みます。
- 各種イベント等を通じ、消防団の重要性について市民の理解を促進し、減少傾向にある団員の確保に取り組みます。
- 計画的な消防車両の更新や施設の整備を進めます。



出所：木更津市 警防課資料

### DX の視点

- ・ 手続きのオンライン化
- ・ VR消防訓練の実施

### GX の視点

- ・ 分署・出張所における再生可能エネルギーの導入、省エネルギー化



### オーガニックなまちづくりに向けた取組



#### 市の取組

- ・ 救急活動時間を短縮します。
- ・ 防災意識の向上に取り組みます。

#### 市民等の取組

- ・ 119番通報は適切に行います。
- ・ 救急救命講習の受講に努めます。
- ・ 消防団活動への加入や協力を努めます。

### 主な取組

#### 07-1 | 消防力の整備充実 ..... 【消防総務課・警防課】

- ▶ 消防組織(分署・出張所)の適正配置に取り組むとともに、複雑多様化する各種災害に対応するため、老朽化した消防車両の更新整備を行います。
- ▶ 富来田分署の建て替えをはじめ、老朽化施設の整備を進めます。
- ▶ 消火栓や防火水槽等の消防水利(水源)を計画的に改修します。

#### 07-2 | 救急救助体制の強化 ..... 【警防課】

- ▶ 救急隊の救急活動時間全体の短縮を図るため、効率的な計画のもと訓練等を行います。
- ▶ 複雑多様化する災害に対応するため、消防資機材の計画的な更新整備を行います。
- ▶ 増加する救急需要に対応するため、救急車の適正利用の啓発を推進します。
- ▶ 救命率向上のため、市民を対象とした救命講習の充実に取り組みます。

#### 07-3 | 火災予防体制の充実強化 ..... 【予防課】

- ▶ 防火対象物や危険物施設の立入検査を行い、違反の早期是正、防火・防災及び保安体制を強化します。
- ▶ 小・中学生や園児を対象とした消防署の見学、職場体験や防災ジュニアハイスクール等を活用し、防火・防災に対する理解や関心を深めるとともに、将来の防火・防災活動を担う人材の育成に取り組みます。
- ▶ 住宅用火災警報器の重要性や必要性を普及啓発し、設置の促進及び適切な維持管理を推進します。

#### 07-4 | 消防団の充実強化 ..... 【警防課】

- ▶ 消防団員の入団促進を図るため、広報紙やSNS等を活用して消防団の魅力や重要性を広く発信します。
- ▶ 各種災害に対応するため、老朽化した車両の更新や消防団装備品を整備します。

指標	現状値	目標(令和8年度)	備考
住宅用火災警報器の設置率	78% (令和3年度)	83%	年間増加率を1%と見込む。
消防団員充足率	86.0% (570人) (令和4年12月末)	100% (570人)	年間増加率を3.5%と見込む。

#### 関連する個別計画

木更津市公共施設再配置計画 / 木更津市消防施設個別施設計画



## 施策 08 防犯体制の充実

**目標** ▶▶ 市民が安心して安全に暮らせるまちの実現をめざし、市民の防犯意識を高め、犯罪の未然防止に取り組みます。

### 現状

- 社会情勢の変化により、犯罪の広域化やIT機器を使用した犯罪が増加しています。
- 特に詐欺に関しては、手口が多種多様化し、いわゆる振り込め詐欺や劇場型と言われる詐欺など、給付金や年金、貯蓄を狙った事案が多く発生しています。
- 不審者による声掛けや連れ込みなど、児童などの弱者を狙った事案も発生しています。

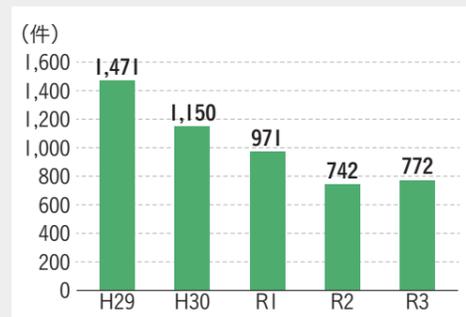
### 課題

- 詐欺に対し「自分は大丈夫」という油断が被害を招くことや、詐欺手口が日々巧妙化していることなどから、市民が被害に遭わないための啓発を強化する必要があります。
- 子どもを標的にした犯罪には、防犯ブザーの携帯のほか、地域の見守りが大切ですが、地域内の交流の減少などによる地域防犯力の低下が課題となっています。

### 課題解決に向けた方向性

- 警察・防犯関係団体との連携を強化し、市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図るとともに、各種媒体を利用した防犯情報発信の充実に取り組みます。
- 地区まちづくり協議会や防犯関係団体など、地域コミュニティを活用した防犯活動の活性化を図ります。
- 官民一体となったパトロールの実施や講習会の開催、見守りや日々の挨拶などによる地域防犯力の強化をめざし、多種多様化している犯罪行為に対し、犯罪抑止につながる環境整備を推進します。

【刑法犯認知件数】



出所：千葉県警察 犯罪統計

### DX の視点

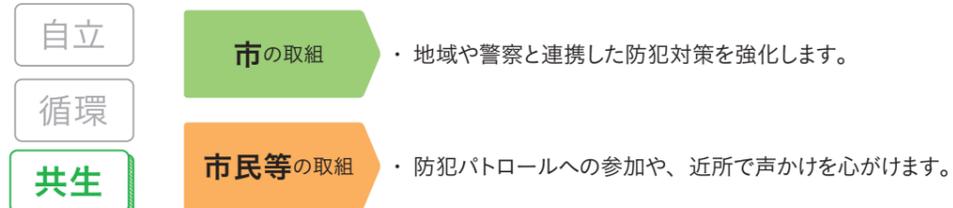
・ 情報発信の強化、充実

### GX の視点

・ LED防犯灯による省エネルギー化



### オーガニックなまちづくりに向けた取組



### 主な取組

#### 08-1 | 防犯活動の推進 ……【地域共生推進課】

- ▶ 警察や防犯関係団体と連携し、防犯講習会の開催や犯罪発生状況や詐欺の手口の情報提供などにより、冷静に対処できるよう注意喚起を行い、防犯意識の底上げに取り組みます。
- ▶ 自主防犯活動団体に対して、防犯ベスト等の防犯活動に必要な物資の支援を行うとともに、新規登録について、市公式ホームページ等により周知を行います。
- ▶ 青色回転灯防犯パトロール車によるパトロール実施や、防犯指導員への防犯車両の貸出を実施します。
- ▶ 防犯活動従事者の知識の向上を図るための防犯研修会や、公民館と連携した防犯講話を実施します。

#### 08-2 | 防犯設備の整備 ……【地域共生推進課】

- ▶ 町内会や自治会等が市の設置基準を満たしたLED防犯灯を新規に設置する際の費用を補助します。
- ▶ 市内犯罪発生状況等に応じて、街頭防犯カメラを設置します。
- ▶ 防犯ボックスの運営を通じて地域防犯力の強化に取り組みます。

指標	現状値	目標（令和8年度）	備考
刑法犯認知件数	822件 (令和4年12月末)	742件	年間20件の減少をめざす。
自主防犯活動団体組織数	58団体 (令和4年度)	62団体	年間1組織をめざす。

関連する個別計画  
木更津市中心市街地活性化基本計画

SDGsへの貢献



## 施策 09 交通安全対策の充実

**目標** ▶▶ 市民が安心して安全に暮らせるまちの実現をめざし、交通事故発生件数の減少に向け、道路交通環境の整備や交通安全意識の向上に取り組みます。

### 現状

- 市内における交通事故発生件数は減少していますが、高齢者が加害者や被害者となるケースが増えています。
- 路面標示や道路標識に対する意識の希薄さ、認識不足などにより、高齢者や児童・生徒などの歩行者が受ける事故が絶えず発生しています。
- 木更津金田インターチェンジ周辺の交通渋滞により、周辺交通へ支障をきたしています。
- 木更津駅周辺では、放置自転車による通行の妨げや、景観に悪影響を及ぼしています。
- 自転車を利用される方の交通ルールに対する誤った認識が見受けられます。

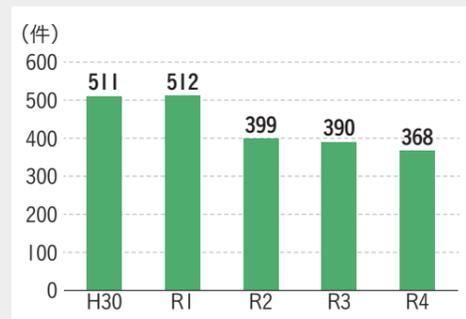
### 課題

- 高齢者や児童・生徒の交通安全対策が課題となっています。
- 木更津金田インターチェンジ周辺の交通渋滞対策としての役割を担う木更津市金田第一駐車場について、金田西特定土地区画整理事業の進展に伴い、再整備に向けた用地確保が必要です。
- 放置自転車を無くすために、自転車駐車場の整備やルール遵守の啓発が必要です。
- 自転車の安全な利用のためにルールの周知が必要です。

### 課題解決に向けた方向性

- 警察・交通安全協会等の交通関係機関や団体と連携を図り、各種交通安全対策を推進します。
- 人と車が安全で円滑に通行できる道路や施設など、道路交通環境の整備を推進します。
- 木更津金田インターチェンジ周辺の交通渋滞対策機能や、スムーズなパークアンドライド機能を図るため木更津市金田第一駐車場の再整備に取り組みます。
- 歩行者及び自動車、自転車等の運転者に対し、ルールやマナーの啓発に取り組みます。

【交通事故発生件数】



出所：千葉県警察 交通事故統計資料集

### DX の視点

・ 情報発信の強化、充実

### GX の視点

・ 公共交通の利用促進による二酸化炭素の排出削減と交通事故の削減



### オーガニックなまちづくりに向けた取組



### 主な取組

- 09-1 | 交通環境の整備** ……【地域共生推進課・土木課・市街地整備課・管理用地課】
- ▶ 安全な歩行空間を確保するため、歩道や交差点の新設・改良を行います。
  - ▶ 安全な自転車通行空間を確保するため、道路照明や警戒標識などの交通安全施設を整備します。
  - ▶ 木更津市金田第一駐車場は、土地区画整理事業の進捗状況に合わせ、既存施設を有効活用しながら再整備を行います。
  - ▶ 市内移動手段及び駅利用者等の動向を調査し、適正な自転車駐車場整備を行う計画に取り組み、放置自転車の撲滅、マナー等の啓発活動に取り組みます。
- 09-2 | 交通安全の推進と意識の向上** ……【地域共生推進課】
- ▶ 歩行者や運転者等が交通ルールやマナーを正しく守るよう、交通安全教室等を関係団体と連携して実施するとともに、各種啓発活動を積極的に推進するなど、交通安全意識の向上に取り組みます。
  - ▶ 自転車安全利用ルールである「ちばサイクルール」を周知し、正しい利用を啓発します。
- 09-3 | 被害者救済制度の充実** ……【地域共生推進課】
- ▶ 交通事故による被害者を救済するため、交通事故時に見舞金が給付される交通災害共済の加入促進と、交通事故相談員による事故相談を行います。

指標	現状値	目標 (令和8年度)	備考
交通事故発生件数	368件 (令和4年)	317件	年間10件の減少をめざす。
交通安全教室の参加者数	5,683人 (令和4年度)	6,500人	年間約200人の増加をめざす。

関連する個別計画  
木更津市交通安全計画

## 施策 10 消費者支援の充実

SDGsへの貢献



### 目標 ▶▶

市民が消費者被害に遭わないだけでなく、「自立した消費者」として行動することをめざし、消費者教育の充実と、被害に遭うリスクの高い消費者を地域で見守る体制の整備を図ります。

### 現状

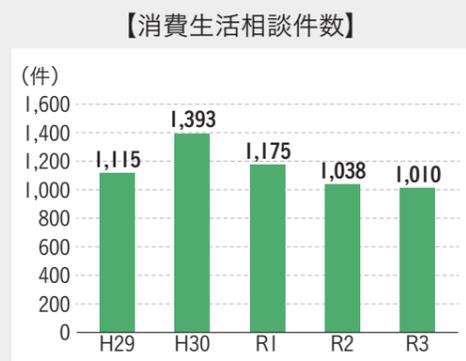
- デジタル化の急速な進展や新型コロナウイルス感染症の感染拡大等、社会環境が変化の中で、インターネットが社会インフラの一部となり、消費者の利便性等が向上しています。
- 令和4年4月1日から成年年齢が引き下げられ、18歳から未成年者取消権を行使できなくなりました。
- 高齢化の進行に伴い、特に配慮を必要とする消費者の被害増加や深刻化が懸念されます。
- キャッシュレス決済やインターネットサービスが世代を問わず普及したことで、消費生活相談の内容も複雑化・高度化しています。

### 課題

- インターネット取引やSNS等をきっかけとしたトラブルが増加しています。
- 成年年齢の引き下げに伴い、若年層の消費者被害の拡大が懸念されます。
- 高齢者等の消費者被害の未然防止や拡大防止のための見守り体制の整備が必要とされています。
- 消費者トラブルの被害のうち、消費生活センターに相談している方は一部にとどまっています。
- 消費相談が複雑化・高度化しているため、消費生活相談員のスキルアップが必要とされています。

### 課題解決に向けた方向性

- 消費生活に関する啓発活動や学習機会を提供します。
- 「消費者被害にあったら、消費生活センターへ相談する」という消費者の意識を高めます。
- 消費者教育に関する関係機関との連携を図り、特に高齢者に対する地域の見守りを強化します。
- 消費生活相談員の研修等の参加を促し、スキルアップを図ります。



出所：木更津市 地域共生推進課資料

### DX の視点

・ 情報発信の強化、充実

### GX の視点

・ 持続可能な消費社会の形成に向けた「エシカル消費」の啓発

### オーガニックなまちづくりに向けた取組



#### 市の取組

- ・ 消費者被害防止のための啓発活動を行います。
- ・ 消費生活相談を実施し、情報提供の充実に取り組みます。

#### 市民等の取組

- ・ 消費者トラブルを未然に防止するため、自発的に学び、自立した消費者をめざします。

### 主な取組

#### 10-1 | 消費者の自立支援 …… 【地域共生推進課】

- ▶ 消費者問題を体系的に学習する機会を設け、消費者問題への関心を喚起します。
- ▶ 成年年齢引き下げに伴う若者の消費者トラブル防止のため、中学生や高校生を対象に出前講座の開催を促し、若年層の消費者としての自立を支援します。
- ▶ 消費者啓発のための冊子やリーフレットを通じて、消費生活に関する情報提供を行うほか、市公式ホームページ内の消費生活情報について、外部の情報媒体との協力体制を構築することで更なる充実に取り組みます。
- ▶ 消費生活センターにおいて、消費生活相談員が問題解決のための助言やあっせん等の相談事業を行うほか、消費生活出前講座への講師派遣を行います。
- ▶ 消費者教育及び見守りネットワークの構築を推進するため、各分野の関係機関による消費者安全確保地域協議会の設置に取り組みます。
- ▶ 消費生活センターの認知度を高めるため、啓発資料の配布や市公式ホームページに掲載し、周知します。
- ▶ 消費生活相談員をスキルアップさせるため、消費者行政に求められる広範な知見を習得する研修参加を促し、全国の被害事例について情報収集を行います。

指標	現状値	目標 (令和8年度)	備考
消費生活出前講座の参加人数	800人 (令和4年12月末)	960人	消費者被害防止のための普及啓発を行い、現状値の1.2倍を目標とする。
消費者相談件数	741件 (令和4年12月末)	1,300件	消費生活センターの認知度を高め、より多くの方に相談していただくことで、被害の未然防止や被害者の救済につなげる。

#### 関連する個別計画

きざらづ障がい者プラン(木更津市障害者計画、木更津市障害福祉計画、木更津市障害児福祉計画) / 木更津市自殺対策計画